

浜の活力再生広域プラン

（第2期）

1 広域水産業再生委員会

組織名	東国東広域水産業再生委員会
代表者氏名	会長 近乗美信（大分県漁業協同組回国見地区漁業運営委員長）

広域再生委員会の 構成員	東国東地域水産業再生委員会、 （大分県漁業協同組回国見支店、くにさき支店、武蔵支店、安岐支店、 国東市） くにさき漁業合同会社、大分県
オブザーバー	国東市特産水産物銘柄化推進協議会 国東市世界農業遺産プロジェクトチーム ヤンマー（株）、JETRO大分（輸出関係）

※再生委員会の規約及び推進体制が分かる資料を添付すること。

対象となる地域の 範囲及び漁業の種 類	大分県国東市（大分県漁協 国見支店、くにさき支店、武蔵支店、安岐支店管内）		
	地区	正組合員数	漁業種類
	国見地区	50人	底びき網漁業、ごち網漁業、さし網漁業、小型定置網漁業、潜水漁業、一本釣漁業、はえ縄漁業、採藻、海面養殖
	国東地区	64人	
	武蔵地区	32人	
	安岐地区	27人	
計	173人		

※策定時点で対象となる漁業者数も記載すること。

2 地域の現状

(1) 地域の水産業を取り巻く現状等

平成 18 年 3 月に 4 町の合併により誕生した国東市は、大分県の北東部国東半島の東部に位置し、瀬戸内海の伊予灘に面している。

国東市では、さし網漁業・釣漁業・はえ縄漁業など複数の漁業を営む漁業者が多い。平成 30 年度の漁業種別の漁獲量では、採貝・採藻漁業が最も多く 451 t、次いでその他（タコ壺等）の漁業 221 t、船びき網（ごち網）漁業 194 t の順となっており、全体で 1,377 t を生産している。また、令和元年度の漁船総隻数は 3 t 未満クラス主体の 476 隻となっている。

近年は、魚価の低迷や主要漁獲物であるタチウオ、タコ等の漁獲量が激減したことに加え、燃油価格の高止まりにより漁業コストが上昇し、漁家経営を圧迫している。

また、干潟域については、アサリ等の漁獲量の減少により低利用となっており、干潟域の有効活用が課題であった。

そこで、平成 27 年度から干潟域を活用したカキ養殖を新たに開始したところである。コンセプトを生食に特化した商品とし、ブランド名を「くにさき O Y S T E R」（平成 27 年 7 月商標登録）として、首都圏等のオイスターバーを中心に平成 27 年度から販売を開始した。

(2) その他の関連する事項

国東市は、半島振興法に基づく指定地域にあり、三方を海に囲まれ、平地に恵まれず、幹線交通体系から離れているなどの制約の下にあることから、産業基盤や生活環境の整備等について他の地域に比較して低位にあり、また、人口減少、高齢化が進行するなど厳しい状況にある。

人口については、平成 18 年 3 月に 4 町（国見町・国東町・武蔵町・安岐町）が合併し、約 34,700 人となったが、令和元年 3 月末には約 27,515 人まで減少、日本創成会議が発表した「消滅可能性都市」にあがるなど、これらへの対策が急務となっている。

基幹産業は第 1 次産業であり、水産業以外では、瀬戸内海式気候であることから、少雨温暖な気候を生かした柑橘栽培が盛んであったが、現在これに代りオリーブやキウイ栽培に力を入れ取り組んでいる。また、平成 25 年には世界農業遺産に認定されるなど、特色ある農林水産業が行われている地域でもある。

他には、テクノポリス構想により昭和 50 年代後半から先端技術産業が大分空港周辺に集積し操業を開始した。

観光業については、国東地域は神仏習合が色濃い六郷満山文化が栄え、これら神社仏閣など観光資源が多くあり、年間を通じてこれらを活かした観光が主である。

交通アクセスについては、大分空港が立地していることから、2002 年開催の日韓サッカーワールドカップを契機に自動車専用道路の整備が始まり、2016 年東九州自動車道の全線開通により北九州や宮崎方面からのアクセスは良くなり、「陸の孤島」と呼ばれる状況は徐々に解消されつつある。今後は交流人口の増加を期待している。

3 競争力強化の取組方針

(1) 機能再編・地域活性化に関する基本方針

① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題）

--

② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

国東の水産業を取り巻く厳しい現状等をふまえ、「浜の活力再生プラン」(26 水港第 2643 号) における機能再編、競争力強化の取組みの更なる強化を図り、地域の活性化に資するため、各地区が一体となって以下の 4 本の柱からなる取組を実施する。

【1. 地域資源管理とその有効活用】

浜の活力再生プランに則り、種苗放流、資源管理、藻場の保全等の取組について、漁協各支店の広域連携により一層高度化するとともに、新たに「小型タコ保護策の検討」や「ヒジキの増養殖試験」等に取り組むことで、機能再編・地域活性化を推進する。

- ・漁協各支店が広域的に連携し、新たに藻類の増養殖に係る試験等を行い、その成果を共有することで、地域資源管理とその有効活用を推進する。

【2. 流通改善】

漁協各支店が広域的に連携し、県外市場への出荷体制を見直し、漁協への集出荷体制を強化する

ことで、機能再編・地域活性化を推進する。なお、近年需要が増えているフィレ等の一次加工された水産物の出荷に対応するため、大分県漁協本店や東国東地区と隣接する大分県漁協杵築支店との連携を強化する。

- ・漁協各支店が広域的に連携し、県外市場へのお荷体制を見直す（運搬トラックの共同利用による集約化等）ことで、運搬コスト（手数料）を下げ、漁業者の所得向上を図るとともに、漁協への集出荷体制を強化する。

【3. 地域水産物のブランド化及び消費拡大】

浜の活力再生プランにおける生食用養殖カキ及びタコのブランド化・販路拡大の取り組みについて、漁協各支店、国東市商工会等の広域的な連携により、一層のブランド化・販路拡大を推進するとともに、サワラにあっては、新たに製氷施設等の集出荷関係施設を整備し、高鮮度化による付加価値向上を図ることで、漁協への集出荷体制を強化し、機能再編・地域活性化を推進する。

（生食用養殖カキ「くにさきOYSTER」）

「地域おこし協力隊」の宣伝活動、「大分県かき類生産者協議会（養殖技術・衛生管理手法等の情報交換や販促の連携等を目的として、大分県下のカキ養殖関係者が構成員となり、H28.3月設立）」との広域的連携（販路拡大等）、各種イベント等を通じて、ブランド力の強化・販路拡大に取り組む。

（くにさき姫だこ）

- ・ふるさと納税制度を活用して、漁業者等によるタコの加工品の販売を促進することで、タコのブランド化を推進するとともに、六次産業化による漁業収益の向上を図る。

【4. 輸出促進】

生食用養殖カキ（くにさきOYSTER）について、漁協各支店、国東市商工会等が広域的に連携し、高品質・安定生産の促進を図りつつ、更なるブランド化・販路拡大を推進し、さらに生食を主流とする国への輸出に取り組むことで、機能再編・地域活性化を推進する。

- ・生食用に特化した「養殖殻付生ガキ」をコンセプトとした「くにさきOYSTER」の生産に取り組み、国内はもとより生食文化を主流とする近隣諸国へ輸出する。
- ・EU基準を適用している輸出先国も少なくないことから、NSSP（米国食品安全・応用栄養センターが定めた国家貝類衛生プログラム）に準拠した海域管理体制（養殖海域モニタリング調査等）の研究や、EU-HACCPの認証取得可能な施設整備の検討を進める等、世界最高級の品質保証に向けた取組を行い、海外販路を開拓し輸出の拡大に取り組む。

（2）中核的担い手の育成に関する基本方針

① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題）

--

② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

漁協各支店等が一体的な連携のもと以下の取り組みを行うことで、新規就業者及び中核的担い手の確保・育成を推進する。

【共通（漁船漁業・養殖業）】

- ・水産業が労働対価に見合う魅力ある産業でなければ新規就業者は見込めない。このため、資源管理型漁業や養殖業を一層推進するとともに、省エネ機器や漁船導入等による収入向上・コスト削減に向けた取組を行い、魅力ある漁家経営体を育成する。
- ・新規就業者等に対して、大分県漁業学校等の研修を実施することにより、新規就業者の確保・育成を推進し、さらに青年部活動や各種研修会等を通じて、地域漁業の中核となる担い手の育成強化を図る。
- ・青年部活動や各種研修活動に積極的に参加し、省エネ機器の導入等により収入向上・コスト削減に取り組む漁業者を「中核的漁業者」として認定する。

【カキ養殖（くにさきOYSTER）】

- ・地域おこし協力隊制度等を活用し、都市部から新規就業者を確保し、任務終了後に漁業就業へつながるよう支援する。
- ・カキ養殖に取り組む「モデル漁家」を中核的漁業者とし、養殖・経営技術習得の支援を行うことにより、安定経営に資するとともに、新規にカキ養殖を希望する漁家（新規就業者を含む）の相談や指導者としての役割を担う等、養殖拡大に向けての人材確保と人づくりを行う。

※「モデル漁家」とは

過去、国東地域はカキ養殖の経験がなく漁業者にとっては漁業種別の大きな転換となることから、養殖に取り組んだ場合の成果や課題を他の漁業者や関係者に示す役割を担う。

（3）漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

漁業法、大分県漁業調整規則、地区毎に策定された資源管理計画（方針）等の順守を徹底する。
また、藻場及び干潟の保全活動・種苗放流等を積極的に実施する。

○大分県漁業調整規則

<マダコ> 体重 200g 以下の採捕、保持、販売の禁止

○大分海区漁業調整委員会指示

<マコガレイ（第2種特定海洋生物資源）> 全長 15cm 以下の採捕禁止

○自主規制（タチウオ漁業者検討会）

毎月第2土曜日の休漁

<タチウオ> 毎月第2土曜日の休漁（7,8月は毎週土曜日の休漁）

5～6月の旧暦15日前後の日曜日から6日間（産卵期）の休漁

禁漁区の設定（大分県タチウオ資源管理に関する方針）

(4) 具体的な取組内容 (年度ごとに数値目標とともに記載)

1年目 (令和3年度)

取組内容	<p>以下の取組により、養殖カキの出荷個数について、基準年比 2%増の 1 4 2 千個以上を目標とする。</p> <p>以下の取組により、新たに 3 名以上を中核的漁業者として認定する。</p> <p>【1. 地域資源管理とその有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none">・漁協各支店は、タコ壺及びカゴ漁業者の意見を集約した上で、マダコの資源管理の強化を図るため、新たに小型タコの保護策について検討する。・漁協各支店は、同じ海域で同じ漁法でタチウオを漁獲する漁業者が所属する大分県漁協姫島支店等の関係機関との連携を図りながら、タチウオ資源管理措置 (保護区域の設定期間の延長や休漁日を増やす等の産卵親魚の保護策) の強化について検討する。・漁協各支店青年部は藻類の増養殖に係る試験を行い、その成果を漁協各支店間で共有することで、今後の地域資源管理とその有効活用のあり方を検討する。 <p>【2. 流通改善】</p> <ul style="list-style-type: none">・漁協各支店は県外市場 (福岡県、熊本県等) への出荷体制 (漁協各支店による運搬トラックの共同利用による集約化等) を見直すことで、運搬コスト (手数料) を下げて、漁業者の所得向上を図るとともに、漁協への集出荷体制を強化することを検討する。・大分県漁協は、漁協各支店からの意見を踏まえ、出荷拠点とする漁港等 (魚種や出荷先により異なる。) における集出荷施設や船揚施設、浮棧橋等の整備を検討する。 <p>【3. 地域水産物のブランド化及び消費拡大】 (生食用養殖カキ「くにさきOYSTER」)</p> <ul style="list-style-type: none">・漁業者及び国東市は、「地域おこし協力隊」の宣伝活動、「大分県かき類生産者協議会」との広域的連携 (販路拡大等)、各種イベント等を通じて、ブランド力の強化・販路拡大に取り組む。 <p>(くにさき姫だこ)</p> <ul style="list-style-type: none">・くにさき姫だこの出荷拠点である大分県漁協くにさき支店が主体となって、新たなマダコ加工品開発について検討するとともに、ふるさと納税制度を活用して、漁業者等によるマダコの加工品の販売を促進することを検討する。 <p>(サワラ)</p> <ul style="list-style-type: none">・東国東広域水産業再生委員会において、新たにサワラのブランド化を図るため、先進地視察の実施や出荷する際の規格等について検討するとともに、出荷拠点とする大分県漁協くにさき支店において、ブランド化の取組みに必要な製氷施設 (海水ハイブリット氷) 等の集出荷施設の整備について検討する。 <p>【4. 輸出促進】</p> <ul style="list-style-type: none">・漁業者は、生食用に特化した「高品質養殖殻付生ガキ」をコンセプトにした「くにさきOYSTER」について、生食文化を主流とする近隣諸国への輸出を試行する。・くにさき漁業合同会社は「NSSPに準拠した貝類衛生プログラム構築プロジェクト」(国東プロジェクト) に参画する。
------	--

	<p>漁業者及び国東市は、この「国東プロジェクト」において、NSSPに準拠した海域管理体制（養殖海域モニタリング調査等）の研究や、E U-HACCP の認証取得可能な施設整備の検討を進める等、世界最高級の品質保証に向けた取組を行い、海外販路を開拓し輸出の拡大に取り組む。</p> <p>【5. 新規就業者及び中核的担い手の確保・育成】 （共通（漁船漁業・養殖業））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産業が労働対価に見合う魅力ある産業でなければ新規就業者は見込めない。このため、漁協各支店は、競争力強化型機器等導入事業、広域浜プラン実証調査事業、浜の担い手漁船リース事業等により、収入向上・コスト削減の取組を推進する。 ・漁協各支店は、新規就業支援として、国東市が実施している「空き家バンク」や「マイホーム新築・購入応援奨励金」制度等を活用し、移住定住をサポートする。 ・漁協各支店は、新規就業者等に対して、大分県漁業学校等の研修を実施することにより新規就業者の確保・育成を推進し、さらに青年部活動や各種研修会等を通じて、将来地域漁業の中核となる担い手の育成強化を図る。 <p>（カキ養殖（くにさきOYSTER））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くにさき漁業合同会社は、地域おこし協力隊制度等を活用し、都市部から新規就業者を確保し、任務終了後に漁業就業へつながるよう支援する。 ・くにさき漁業合同会社は、「モデル漁家」に対して養殖・経営技術習得の支援を行うことにより、安定経営に資する取組を進める。
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン緊急対策事業（広域浜プラン実証調査）</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業</p> <p>水産業競争力強化緊急施設整備事業</p> <p>浜の担い手漁船リース緊急事業</p> <p>水産業競争力強化金融支援事業</p> <p>水産基盤整備事業</p> <p>漁業人材育成総合支援事業</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業</p> <p>青年就業準備給付金</p> <p>資源造成型栽培漁業推進事業（県）及び浅海増殖事業（市）</p> <p>カキ養殖海域水質等モニタリング事業（市）</p> <p>地方創生関連事業</p>

2年目（令和4年度）

取組内容	<p>以下の取組により、養殖カキの出荷個数について、基準年比 4%増の 1 4 5 千個以上を目標とする。</p> <p>以下の取組により、新たに 3 名以上を中核的漁業者として認定する。</p> <p>【1. 地域資源管理とその有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none">・東国東広域水産業再生委員会において、漁獲サイズ規制、操業時期や区域制限等による小型タコの保護策について合意形成を図り、タコの資源管理を一層高度化する。・引き続き漁協各支店は、大分県漁協姫島支店等の関係機関との連携を図りながら、タチウオ資源管理措置（産卵親魚の保護策）の強化について検討する。・引き続き、漁協各支店青年部が、藻類の増養殖に係る試験等を行い、その成果を漁協各支店間で共有することで、今後の地域資源管理とその有効活用のあり方を検討する。 <p>【2. 流通改善】</p> <ul style="list-style-type: none">・引き続き、漁協各支店は、県外市場への出荷体制を見直す（運搬トラックの共同利用による集約化等）ことで、運搬コスト（手数料）を下げ、漁業者の所得向上を図るとともに、共同出荷が合理的に実施できるよう、漁協への集出荷や漁獲物の一時保蔵体制を強化する。・大分県漁協は出荷拠点とする漁港等において、集出荷施設や船揚施設、浮棧橋等の整備を行う。 <p>【3. 地域水産物のブランド化及び消費拡大】 (生食用養殖かき「くにさきOYSTER」)</p> <ul style="list-style-type: none">・引き続き、漁業者及び国東市は、「地域おこし協力隊」の宣伝活動、「大分県かき類生産者協議会」との商談会への出店やカキの宣伝活動における広域的連携（販路拡大等）、各種イベント等を通じて、ブランド力の強化・販路拡大に取り組む。 <p>(くにさき姫だこ)</p> <ul style="list-style-type: none">・引き続き、大分県漁協くにさき支店が主体となって、ふるさと納税制度を活用して、漁業者によるマダコの加工品の販売を促進することで、マダコのブランド化を推進するとともに、六次産業化による漁業収益の向上を図る。 <p>(サワラ)</p> <ul style="list-style-type: none">・サワラのブランド化を図るため、引き続き、東国東広域水産業再生委員会において、先進地視察を行い、出荷する際の規格等について検討するとともに、大分県漁協くにさき支店は、試験出荷等の取組みを行う。 <p>【4. 輸出促進】</p> <ul style="list-style-type: none">・引き続き、漁業者及び国東市は、「国東プロジェクト」において、海域管理体制（養殖海域モニタリング調査等）の研究や、E U－HACCP の認証取得可能な施設整備の検討を進める等、世界最高級の品質保証に向けた取組を行い、海外販路を開拓し輸出の拡大に取り組む。 <p>【5. 新規就業者及び中核的担い手の確保・育成】</p>
------	--

	<p>(共通 (漁船漁業・養殖業))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、漁協各支店は、競争力強化型機器等導入事業、広域浜プラン実証調査事業、浜の担い手漁船リース事業等により、収入向上・コスト削減の取組を推進する。 ・引き続き、漁協各支店は、新規就業支援として、国東市が実施している「空き家バンク」や「マイホーム新築・購入応援奨励金」制度等を活用し、移住定住をサポートする。 ・引き続き、漁協各支店は、新規就業者等に対して、大分県漁業学校等の研修を実施することにより新規就業者の確保・育成を推進し、さらに青年部活動や各種研修会等を通じて、将来地域漁業の中核となる担い手の育成強化を図る。 <p>(カキ養殖 (くにさきOYSTER))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、くにさき漁業合同会社は、地域おこし協力隊制度等を活用し、都市部から新規就業者を確保し、任務終了後に漁業就業へつながるよう支援する。 ・引き続き、くにさき漁業合同会社は、「モデル漁家」に対して養殖・経営技術習得の支援を行うことにより、安定経営に資する取組を進める。
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン緊急対策事業 (広域浜プラン実証調査)</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業</p> <p>水産業競争力強化緊急施設整備事業</p> <p>浜の担い手漁船リース緊急事業</p> <p>水産業競争力強化金融支援事業</p> <p>水産基盤整備事業</p> <p>漁業人材育成総合支援事業</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業</p> <p>青年就業準備給付金</p> <p>資源造成型栽培漁業推進事業 (県) 及び浅海増殖事業 (市)</p> <p>カキ養殖海域水質等モニタリング事業 (市)</p> <p>地方創生関連事業</p>

3年目（令和5年度）

取組内容	<p>以下の取組により、「くにさき姫だこ」の平均単価 965 円/kg を目標とする。</p> <p>以下の取組により、養殖カキの出荷個数について、基準年比 6%増の 1 4 5 千個以上を目標とする。</p> <p>以下の取組により、新たに 3 名以上を中核的漁業者として認定する。</p> <p>【1. 地域資源管理とその有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none">・漁業者は、2年目までに合意したマダコ資源管理措置を順守する。・引き続き、漁協各支店は、大分県漁協姫島支店等の関係機関との連携を図りながら、タチウオ資源管理措置（産卵親魚の保護策）の強化について検討する。・引き続き、漁協各支店青年部が、藻類の増養殖に係る試験等を行い、その成果を漁協支店間で共有することで、今後の地域資源管理とその有効活用のあり方を検討する。 <p>【2. 流通改善】</p> <ul style="list-style-type: none">・引き続き、漁協各支店は、県外市場への出荷体制を見直す（運搬トラックの共同利用による集約化等）ことで、運搬コスト（手数料）を下げ、漁業者の所得向上を図るとともに、漁協への集出荷体制を強化する。・引き続き、大分県漁協は出荷拠点とする漁港等において、集出荷施設や船揚施設、浮棧橋等の整備を行う。 <p>【3. 地域水産物のブランド化及び消費拡大】 (生食用養殖かき「くにさきOYSTER」)</p> <ul style="list-style-type: none">・引き続き、漁業者及び国東市は、「地域おこし協力隊」の宣伝活動、「大分県かき類生産者協議会」との広域的連携（販路拡大等）、各種イベント等を通じて、ブランド力の強化・販路拡大に取り組む。 <p>(くにさき姫だこ)</p> <ul style="list-style-type: none">・引き続き、大分県漁協くにさき支店が主体となって、ふるさと納税制度を活用して、漁業者によるマダコの加工品の販売を促進することで、マダコのブランド化を推進するとともに、六次産業化による漁業収益の向上を図る。 <p>(サワラ)</p> <ul style="list-style-type: none">・東国東広域水産業再生委員会においてブランド化するサワラの規格を定めるとともに、大分県漁協くにさき支店は、集出荷を行うために必要な倉庫や製氷機等の施設を整備し、規格を満たすサワラの出荷を本格的に開始するとともに、出荷先の関係者との意見交換を継続的に行うことで、品質の改善に努める。併せて、新たな販路開拓のための取組を行う。 <p>【4. 輸出促進】</p> <ul style="list-style-type: none">・引き続き、漁業者及び国東市は、「国東プロジェクト」において、海域管理体制（養殖海域モニタリング調査等）の研究や、E U－HACCP の認証取得可能な施設整備の検討を進める等、世界最高級の品質保証に向けた取組を行い、海外販路を開拓し輸出の拡大に取り組む。 <p>【5. 新規就業者及び中核的担い手の確保・育成】</p>
------	--

	<p>(共通 (漁船漁業・養殖業))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、漁協各支店は、競争力強化型機器等導入事業、広域浜プラン実証調査事業、浜の担い手漁船リース事業等により、収入向上・コスト削減の取組を推進する。 ・引き続き、漁協各支店は、新規就業支援として、国東市が実施している「空き家バンク」や「マイホーム新築・購入応援奨励金」制度等を活用し、移住定住をサポートする。 ・引き続き、漁協各支店は、新規就業者等に対して、大分県漁業学校等の研修を実施することにより新規就業者の確保・育成を推進し、さらに青年部活動や各種研修会等を通じて、将来地域漁業の中核となる担い手の育成強化を図る。 <p>(カキ養殖 (くにさきOYSTER))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、くにさき漁業合同会社は、地域おこし協力隊制度等を活用し、都市部から新規就業者を確保し、任務終了後に漁業就業へつながるよう支援する。 ・引き続き、くにさき漁業合同会社は、「モデル漁家」に対して養殖・経営技術習得の支援を行うことにより、安定経営に資する取組を進める。
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン緊急対策事業 (広域浜プラン実証調査)</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業</p> <p>水産業競争力強化緊急施設整備事業</p> <p>浜の担い手漁船リース緊急事業</p> <p>水産業競争力強化金融支援事業</p> <p>水産基盤整備事業</p> <p>漁業人材育成総合支援事業</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業</p> <p>青年就業準備給付金</p> <p>資源造成型栽培漁業推進事業 (県) 及び浅海増殖事業 (市)</p> <p>カキ養殖海域水質等モニタリング事業 (市)</p> <p>地方創生関連事業</p>

4年目（令和6年度）

<p>取組内容</p>	<p>以下の取組により、「くにさき姫だこ」の平均単価 979 円/kg を目標とする。</p> <p>以下の取組により、養殖カキの出荷個数について、基準年比 8%増の 1 4 5 千個以上を目標とする。</p> <p>以下の取組により、サワラの平均単価 648 円/kg を目標とする。</p> <p>以下の取組により、新たに 3 名以上を中核的漁業者として認定する。</p> <p>【1. 地域資源管理とその有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き漁業者は、2 年目までに合意したマダコ資源管理措置を順守する。 ・引き続き、漁協各支店は、大分県漁協姫島支店等の関係機関との連携を図りながら、タチウオ資源管理措置（産卵親魚の保護策）の強化について検討する。 ・引き続き、漁協各支店青年部が、藻類の増養殖に係る試験等を行い、その成果を共有することで、今後の地域資源管理とその有効活用のあり方を検討する。 <p>【2. 流通改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、漁協各支店が、県外市場への出荷体制を見直す（運搬トラックの共同利用による集約化等）ことで、運搬コスト（手数料）を下げ、漁業者の所得向上を図るとともに、漁協への集出荷体制を強化する。 ・引き続き、大分県漁協は出荷拠点とする漁港等において、集出荷施設や船揚施設、浮棧橋等の整備を行う。 <p>【3. 地域水産物のブランド化及び消費拡大】 （生食用養殖かき「くにさき O Y S T E R」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、漁業者及び国東市は、「地域おこし協力隊」の宣伝活動、「大分県かき類生産者協議会」との広域的連携（販路拡大等）、各種イベント等を通じて、ブランド力の強化・販路拡大に取り組む。 <p>（くにさき姫だこ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、大分県漁協くにさき支店が主体となって、ふるさと納税制度を活用して、漁業者によるマダコの加工品の販売を促進することで、マダコのブランド化を推進するとともに、六次産業化による漁業収益の向上を図る。 <p>（サワラ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県漁協くにさき支店は、ブランド化した（一定の規格の）サワラの出荷量増加を図るため、引き続き、新たな販路開拓等の取組を行う。 <p>【4. 輸出促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、漁業者及び国東市は、「国東プロジェクト」において、海域管理体制（養殖海域モニタリング調査等）の研究や、E U - H A C C P の認証取得可能な施設整備の検討を進める等、世界最高級の品質保証に向けた取組を行い、海外販路を開拓し輸出の拡大に取り組む。 <p>【5. 新規就業者及び中核的担い手の確保・育成】 （共通（漁船漁業・養殖業））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、漁協各支店は、競争力強化型機器等導入事業、広域浜プラン実証調査事業、浜の担い手漁船リース事業等により、収入向上・コスト削減の取組を推進する。
-------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、漁協各支店は、新規就業支援として、国東市が実施している「空き家バンク」や「マイホーム新築・購入応援奨励金」制度等を活用し、移住定住をサポートする。 ・引き続き、漁協各支店は、新規就業者等に対して、大分県漁業学校等の研修を実施することにより新規就業者の確保・育成を推進し、さらに青年部活動や各種研修会等を通じて、将来地域漁業の中核となる担い手の育成強化を図る。 <p>(カキ養殖 (くにさきOYSTER))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、くにさき漁業合同会社は、地域おこし協力隊制度等を活用し、都市部から新規就業者を確保し、任務終了後に漁業就業へつながるよう支援する。 ・引き続き、くにさき漁業合同会社は、「モデル漁家」に対して養殖・経営技術習得の支援を行うことにより、安定経営に資する取組を進める。
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン緊急対策事業 (広域浜プラン実証調査)</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業</p> <p>水産業競争力強化緊急施設整備事業</p> <p>浜の担い手漁船リース緊急事業</p> <p>水産業競争力強化金融支援事業</p> <p>水産基盤整備事業</p> <p>漁業人材育成総合支援事業</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業</p> <p>青年就業準備給付金</p> <p>資源造成型栽培漁業推進事業 (県) 及び浅海増殖事業 (市)</p> <p>カキ養殖海域水質等モニタリング事業 (市)</p> <p>地方創生関連事業</p>

5年目（令和7年度）

<p>取組内容</p>	<p>以下の取組により、「くにさき姫だこ」の平均単価 993 円/kg を目標とする。</p> <p>以下の取組により、養殖カキの出荷個数について、基準年比 10%増の 1 5 3 千個以上を目標とする。</p> <p>以下の取組により、サワラの平均単価 687 円/kg を目標とする。</p> <p>以下の取組により、累計 1 7 人以上を中核的漁業者として認定する。</p> <p>【1. 地域資源管理とその有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き漁業者は、2年目までに合意したマダコ資源管理措置を順守する。 ・東国東広域水産業再生委員会は、姫島村広域水産業再生委員会等の関係機関と連携し、タチウオ資源管理措置（産卵親魚の保護策）について合意形成を図り、実践する。 ・漁協各支店は、これまでの試験結果を踏まえ、藻場の保全及びその有効利用を図る。 <p>【2. 流通改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、漁協各支店が、県外市場への出荷体制を見直す（運搬トラックの共同利用による集約化等）ことで、運搬コスト（手数料）を下げ、漁業者の所得向上を図るとともに、漁協への集出荷体制を強化する。 ・引き続き、大分県漁協は出荷拠点とする漁港等において、集出荷施設や船揚施設、浮棧橋等の整備を行う。 <p>【3. 地域水産物のブランド化及び消費拡大】 （生食用養殖かき「くにさきOYSTER」）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、漁業者及び国東市は、「地域おこし協力隊」の宣伝活動、「大分県かき類生産者協議会」との広域的連携（販路拡大等）、各種イベント等を通じて、ブランド力の強化・販路拡大に取り組む。 <p>（くにさき姫だこ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、大分県漁協くにさき支店が主体となって、ふるさと納税制度を活用して、漁業者によるマダコの加工品の販売を促進することで、マダコのブランド化を推進するとともに、六次産業化による漁業収益の向上を図る。 <p>（サワラ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県漁協くにさき支店は、ブランド化した（一定の規格の）サワラの出荷量増加を図るため、引き続き、新たな販路開拓等の取組を行う。 <p>【4. 輸出促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くにさき漁業合同会社は、海域管理体制（養殖海域モニタリング）の整備や、E U -HACCP の認証取得可能な施設整備を実施するとともに、引き続き漁業者及び国東市は、世界最高級の品質保証に向けた取組を行い、海外販路を開拓し輸出の拡大に取り組む。 <p>【5. 新規就業者及び中核的担い手の確保・育成】 （共通（漁船漁業・養殖業））</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、漁協各支店は、競争力強化型機器等導入事業、広域浜プラン実証調査事業、浜の担い手漁船リース事業等により、収入向上・コスト削減の取組みを推進す
-------------	--

	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、漁協各支店は、新規就業支援として、国東市が実施している「空き家バンク」や「マイホーム新築・購入応援奨励金」制度等を活用し、移住定住をサポートする。 ・引き続き、漁協各支店は、新規就業者等に対して、大分県漁業学校等の研修を実施することにより新規就業者の確保・育成を推進し、さらに青年部活動や各種研修会等を通じて、将来地域漁業の中核となる担い手の育成強化を図る。 <p>(カキ養殖(くにさきOYSTER))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、くにさき漁業合同会社は、地域おこし協力隊制度等を活用し、都市部から新規就業者を確保し、任務終了後に漁業就業へつながるよう支援する。 ・引き続き、くにさき漁業合同会社は、「モデル漁家」に対して養殖・経営技術習得の支援を行うことにより、安定経営に資する取組を進める。
活用する支援措置等	<p>広域浜プラン緊急対策事業(広域浜プラン実証調査)</p> <p>競争力強化型機器等導入緊急対策事業</p> <p>水産業競争力強化緊急施設整備事業</p> <p>浜の担い手漁船リース緊急事業</p> <p>水産業競争力強化金融支援事業</p> <p>水産基盤整備事業</p> <p>漁業人材育成総合支援事業</p> <p>水産多面的機能発揮対策事業</p> <p>青年就業準備給付金</p> <p>資源造成型栽培漁業推進事業(県)及び浅海増殖事業(市)</p> <p>カキ養殖海域水質等モニタリング事業(市)</p> <p>地方創生関連事業</p>

(5) 関係機関との連携

【1. 地域資源管理とその有効活用】

- ・大分県、国東市、漁協各支店等が連携のうえ、効果的な資源管理等を検討・実施する。

【2. 流通改善】

- ・大分県、国東市、漁協本店・各支店が連携のうえ、検討・実施する。

【3. 地域水産物のブランド化及び消費拡大】

- ・養殖カキ、マダコ及びサワラについては、大分県、国東市、漁協各支店、民間企業等が連携のうえ、常設の地元産品販売施設（道の駅2カ所、里の駅1カ所、銀たちの郷（JF直営）や都市圏のアンテナショップ（福岡市天神））等と協力のうえ、推進する。

【4. 輸出促進】

- ・「くにさきOYSTER」の輸出促進強化・促進を図るため、JETROや日本冷凍食品検査協会の支援を受けながら、水産庁、大分県、国東市、民間企業、漁協本店・各支店が連携のうえ、推進する。
- ・JETROや大日本水産会等が実施する各種イベントには、国東市特産水産物銘柄化推進協議会の支援を受けながら積極的に参加し、販路拡大を目指す。

【5. 新規就業者及び中核的担い手の確保・育成】

- ・大分県、国東市、漁協本店・各支店が連携のうえ、推進する。

(6) 他産業との連携

(くにさきOYSTER)

- ・今後の養殖出荷量の拡大に合わせて地元商工会（飲食店）と出荷企業が連携のうえ、一部を市内の飲食店や加工業者に提供することにより、カキを核とした観光産業との連携を模索し、合わせて地元で開催される各種イベントに「国東市特産水産物銘柄化推進協議会」の支援を受けカキブースを出店する等して、養殖カキになじみの少ない市民に対しても認知度を上げていく取組みを行うことにより、交流人口の増加による漁村の活力の再生に取り組む。

(くにさき姫だこ)

- ・国東市商工会等と連携のうえ、各種加工品開発等を行い、観光客等へのお土産、定番名物料理として提供できるよう検討する。

4 成果目標

(1) 成果目標の考え方

【マダコ生産額の増加】

- ・本プランでは、マダコの資源管理を推進するとともにブランド化を推進することとしており、「くにさき姫だこ」の単価向上を成果目標とする。

【養殖カキ（くにさきOYSTER）の生産量の増加】

- ・本プランでは、生食用養殖カキの高品質・安定生産の促進を図りつつ、更なるブランド力の強化・販路拡大を推進し、生食を主流とする国への輸出に取り組むこととしており、「くにさきOYSTER」の生産量（個数）の増加を成果目標とする。

【サワラ単価の向上】

- ・本プランでは、タチウオに替わる主要漁獲物となりつつあるサワラのブランド化を図ることとしており、単価向上を成果目標とする。

【中核的漁業者の認定数】

- ・本プランでは、大分県漁業学校等を活用して新規就業者を確保・育成するとともに、漁業者の収入向上・コスト削減の取組を推進し、中核的漁業者の確保・育成を図ることとしており、中核的漁業者の認定数を成果目標とする。

(2) 成果目標

「くにさき姫だこ」の単価向上	基準年	令和元年度： 951円/kg
	目標年	令和7年度： 993円/kg
養殖カキの出荷個数	基準年	令和元年度： 139千個
	目標年	令和7年度： 153千個
サワラ単価の向上	基準年	令和元年度： 609円/kg
	目標年	令和7年度： 687円/kg
中核的漁業者の認定数	基準年	令和元年度： 1人
	目標年	令和7年度： 17人

(3) 上記の算出方法及びその妥当性

【「くにさき姫だこ」の単価向上】

基準年：令和元年度の平均単価とする。

目標年：浜の活力再生プランが5か年で10%以上の所得増加を目標としていることを踏まえ、マダコによって得られる漁業所得10%の増加を目標とした場合、東国東浜プラン（第2期）の所得目標額の算出の際に用いた経費率0.558を用いて算出すると、 $951 + 951 \times (1 - 0.558) \times 0.1 = 993$ 円/kgとなる。ただし、本プランの取組が単価の向上に寄与するには一定の期間を要することが想定されることから、3年目に14円/kg、4年目に28円/kg以上の向上を目標とした。

【養殖カキの出荷個数の増加】

基準年：令和元年度の生産量（最新値）とする。

目標年：浜の活力再生プランが5か年で10%以上の所得増加を目標としていることを踏まえ、カキ養殖によって得られる漁業所得10%の増加を目標とする。「くにさきOYSTERS」の販売先は飲食店を含む小売りが主体であり、生産量増加に伴い生じる出荷経費の増加は無視できないことに加え、生産量増加を図るにあたっては、養殖施設への投資も必要となることから、ブランド力の強化の取組が出荷単価の増加に寄与した場合でも、出荷量10%以上の増加が必要と判断し、養殖カキの出荷個数について、年2%以上の増加を目標とした。

【サワラ単価の向上】

基準年：本プランで、サワラの出荷拠点と位置づけている大分県くにさき支店における令和元年度の平均単価とする。

目標年：ブランド化するサワラの規格等を定めた上で、該当するサワラが出荷魚全体の2割程度と仮定。ブランド化されたサワラが市場で1,000円/kg以上の評価が得られると仮定し（残りの8割のサワラは609円/kgで出荷）、最終年度の平均単価の目標を687円/kgとした。

【中核的漁業者の認定数】

基準年：令和元年度の中核的漁業者の認定数。

目標年：新たに全漁業者（正組合員173人）の1割程度である16人（1地区4人×4地区）認定することを成果目標とした。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生広域プランとの関係性
広域浜プラン実証調査（広域浜プラン緊急対策事業）	浜の活力広域浜プランに基づく実証的な取り組みを実施する。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業	生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等を導入する。
水産業競争力強化緊急施設整備事業	競争力強化のために必要となる施設を整備する。
浜の担い手漁船リース緊急事業（水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業）	中古漁船又は新造漁船の導入を支援する。
水産業競争力強化金融支援事業	漁船の建造・取得・改修、漁業用機器等の導入に係る負担軽減を図る（融資）。
水産基盤整備事業	競争力強化のために必要な漁港、漁港関係施設、増殖施設等を整備する。
漁業人材育成総合支援事業	新規漁業就業者を対象とした研修等を実施する。
水産多面的機能発揮対策事業	藻場の保全のための活動（岩盤清掃、ウニ類の除去等）を実施する。
青年就業準備給付金	新規就業者に対して漁業学校による研修・支援を行う。
資源造成型栽培漁業推進事業 浅海増殖事業	種苗放流に対して支援を行う。

カキ養殖海域水質等モニタリング事業	NSSPに準拠している近隣諸国への殻付生ガキ輸出を目指し、海域管理体制構築に必要な養殖海域のモニタリングを実施する。
地方創生関連事業	地域おこし協力隊制度や空き家バンク制度等、各種地域活性化に資する支援制度を活用し、新規就業者等の受入体制を整える。